

論

「今、あらためて、地域に問い合わせるもの

「町連」十周年に想うこと

庄報部留部長青山恭子

の地震である。それは未だ予断を許さぬ状況にある。この暗雲の中だからこそ、彼等に強い勇気を貰えた。

神無月最後の週に入つた

ーズの白熱戦に胸躍らされている。世界の晴れ舞台で心技の全投入で活躍する松井選手、ゴルフ界の丸山選

井選手、ゴルフ界の丸山選手の輝く笑顔に、いつにな  
い悦びと活力をわが身に覚

日本列島は年頭の厳寒に始まり、冷夏は秋の実りを不

安にし、大雨・台風がそれを決定づけ、更に追い打ち

内から二百名近い関係者が一堂に会し、歴史の一節を確認して祝う「町連設立周年記念式典」が挙行された。区民センターロビーには、平岡今昔を比較する写真展示もあり、郷土愛の面持ちで見入る人々がいた。式典実行委員の努力と粹な計りが随所に見えた。

式典は、小澤実行委（副）の開式の辞に、物故者慰靈黙祷へ全員心寄せることからはじめられた。次いで木下実行委（長）が立ち、平

来賓祝辞続く中 笹出氏  
は「昔平岡は、札幌市民全てを賄える程の野菜生産地で、宅地化へ土地を売らなくても営農できる暮らしがあつた。昭和五十年以降、急速な市街化で現在を成す」の話には原風景が見える。  
梅林公園を代表に緑地が豊か、として都市景観賞受けた平岡ではあるが、食糧自給率低下にある日本では、地域毎に生産農地の欲しい所である。よく「平岡には住宅地としての開発余地が

大きな貢献度の「農事実行組合」を高く評価し、塚田・大山会長に継ぐ三代目会長としての重責と、今後の進むべき道の安全運転に、全力で努める抱負を語る。

熱演する札幌ハーモニー・オーケストラ

域として発展：云々」の章  
見を耳にする時、果して登  
展とは何か？と考えてしま  
う。町連十年、土台はでき  
た。そこに構築するものけ  
何か？が問われる。

した町政に拍手である。次代を担う青少年と共に、将来展望計画できるなら、最も理想的であろう。式典に結団六ヶ月の札幌ハーモニーオーケストラが楽しさを添えるのを聞き、若人達の活気づく街づくりが課題であろうと考える。

活気づく街づくりが課題でありますと考  
える。故郷歴の意味から、町連十周年企画シリーズ「平岡むかし話」を広報に掲載して来た。人々が経験・体験していない広大な時空の過去を識ればこそ、現在が明白になる趣あるもので、過去伝来の話題寄稿を、と待っています。本号は、町連十周年特集としました。

また、「青少年が地域で本気になつて取り組める文化活動が欲しい。和太鼓・獅子舞など…」の前向きで貴重な意見に夢広がる思いだ

平成五年八月一田付広報  
第一号は、十九町内会で町  
連発足を祝う声が多い。今  
二十五町内会で二万三千の

人□となつてゐるのを見て  
皆さんと共に歩いた十年の  
重みを心にもてます。

冒頭の大リーグ・日本シ  
リーズの応援で、時折思考  
の中斷する原稿書きであつ  
た。――結果は出た――私の  
星の王子様は？球界の頂点  
にある両雄に乾杯！

向寒の折、お健やかに  
—式典報告と所感まで—

「町連」

## 設立十周年の慶びとともに



平岡地区町内会連合会  
設立十周年記念事業実行委員会

顧問 大橋 良一

### はじめに

平岡地区町内会連合会が平成5年に設立され、今年は十周年の記念の年にあります。

ついては、去る九月二十八日清田コミュニティーセンターにおきまして、当連

から温かいご支援を戴き成功裡に事業を終えることができました。ご協力に深く感謝いたします。

顧みますと、多年の宿願であります連絡所と地区会館の建設が、平成5年から農事実行組合の皆さんからの広い土地と多額の建設資金の寄与がありまして平岡の地に行政事務作業の簡素化と地域の文化活動の拠点ができ、地域の発展に希望が見えたのです。

会館設立以来、会館の運営は農事実行組合が大きな役割を果たして来て下さいました。しかし、この十年を契機に運営主体を「町連」に委譲することになりました。

顧みますと、行政・経済等環境の変化にともない「町連」結成へのご苦労があり、更にはその後の運営に注がれた先輩諸氏の貴重なご努力を忘ることはできません。

この度、十周年記念事業実行委員会発足以来、行政をはじめ多くの個人・団体

地域の文化活動を  
はぐくむ地区会館

地域における文化活動はうつわ（施設）があつてこそ育ち・広がりもしていく

ものと思います。現在は、町内会活動、各種公益的団体、婦人団体、青少年サークル、高齢者クラブ等活動の種類も多く、文化活動の要の役割を担っています。

文化活動は、地域の心の豊かさを表すパロメーターであります。今はホールも和室も、公益諸団体や一般利用のサークルなどの使用計画がたくさん入っています。

佐子委員長を中心とする新しいメンバーの活躍が期待されています。

この十年の「町連」活動の纏めを一つの契機に、町内会活動、そして文化活動の核として会館運営に創造

## 十年のゴールが新たなスタートに



平岡地区町内会連合会  
設立十周年記念事業実行委員会

実行委員長 木下日出男

初代会館運営委員長塚田勇次さん、八年の長い間運営委員長の任に当たられた畔原清彦さんのお二人は、地域の文化活動向上発展の基礎を支えて頑張ってこられました。ご苦労さまでした。今年度からは、坂東夫

十年の「あゆみ」への慶びを地域の皆さんと共感したいと私は思います。十周年を迎えることができました。この度平岡地区に町内会連合会が結成され、以来発展的に時を経て本年めでたく十周年を迎えることができました。

顧みますと、行政・経済等環境の変化にともない「町連」結成へのご苦労があり、更にはその後の運営に注がれた先輩諸氏の貴重なご努力を忘ることはできません。私たちはこの先人の辛苦の軌跡に心から感謝申しあげると同時に、栄えあるお礼申し上げます。

と意欲に満ちた新たな発展を期してスタートされますことを期待します。



平岡は、「緑の区」清田の中にあつて、年々閑静な住宅地として充実するとともに、交通や商業施設、文化的な施設などの増設をみながら発展してきた地域と思ひます。

しかし、今私たちは「町連」創立十周年の節目に立ち、数十年前の平岡は大都市札幌への野菜・果物の一大供給農地であったものが既存の農事実行組合の地域の将来を見通した発展ための勇気ある支援活動と地域社会の組織化に力を尽くした多くの諸先輩のご苦労を忘ることはできないのです。

地域社会の発展には行政の力は勿論必要です。反面側面も見逃せません。地域の「あゆみ」は、世代から世代へ連綿として続きます。

次代を担うのは、今、勉学中の児童・生徒です。子育てをふくめ、青少年は地域健全育成のための有効な枠組みをしつかり創ることが大切です。

「町連」誕生十周年を機

に、地域作りの大切な視点を皆さんで確認し新たな十年の展望を開きたいもので終わりに、この度記念事業の一つに記念誌部会が『記念誌』を発刊いたしました。

「町連」『10年のあゆみ』は、平岡「町連」小史の初めての試みではありますが、今後平岡の姿動きを一年一年積み重ねていく土台の役割を担うものです。これを機会にこの後、明るく豊かで、

「平岡は楽しいよ…」

そんな会話の弾む十年づくりのために、地域が挙つて知恵と力を出し合いたいと思います。



発展祈念の乾杯

菊薫る九月二十八日、平岡町連「設立十周年記念式典・祝賀会」が、多数のご来賓並びに地域の関係者のご臨席のもとに、厳粛かつ盛会のうちに終了できましたことは、誠に慶賀の極みであり、心から感謝しているところであります。

今回の周年事業は、平岡町連が発足して十年という一つの節目を迎えたことを

## 「先人に学ぶ」

清田区町連連絡協議会会長

加来 博



過ぎ去った過去は早く感じるものです。

百三十年前、明治より、

## 周年事業の意味するもの

記念事業実行委員会

副委員長 小澤 正人



記念して行われた「おめでたい行事」であります。同時に大切なことは、記念事業をとおして町連設立当時の地域の状況や設立業務を担当された先達の理念とか目標などを把握し、理解を深めることであります。

そして、その理念や目標に照らして、現在行っている町連の運営の在り方はいいかどうか、点検評価し、課題を摘出するとともに、その解決に向けて努力することであり、この

**AEON**

ジャスコと90の専門店  
イオン札幌平岡ショッピングセンター

無料大駐車場 4000台

札幌市清田区平岡3条5丁目276-1  
TEL.011-889-5001

**JUSCO**

作業を継承していくところに周年事業の真の意義があるのだと思います。伝統はこの営みの積み重ねによつて培われ形成されてくるものと思っています。



十周年記念事業実行委員会

副委員長 坂東夫佐子

『連合町内会』という地域のボランティア組織活動を十年に区切って書きとどめおくことは、その取り組み様によつては地域史の骨格として大変意味のあることと思っています。

## 記念誌の編集を終えて

ともあれ、平岡町連のあゆみは「草創期から充実発展期」に歩を進めました。記念誌「十年のあゆみ」など参考にして、先達の知恵と心意気に学び、平岡町連初代会長の塚田勇次氏のいわれる「地域の地域による地域のための地域づくり」を目指して、知恵を出し合



実行委員会最終打ち合わせ

そこで、この度編集いたしました『平岡町連十年誌』も、①その創設期編②その後の十余年(揺籃期を含む)の星霜編③そして将来展望編など大きな柱を立て枠組みを作り、さらには、『十年のあゆみ』のリアリティづくりのために座談

会を配置し、話し言葉をもつて対応しました。作業は、五名の町内会会長・町連事業部から二名のメンバーにより、およそ四ヶ月の間に録音テープおこしの依頼、原稿の依頼・調整、十余年の年譜づくりなど枠組みの修正、三次の校正作業などみなさんが長いこと多忙な合間をぬつては作業時間を工夫し取り組んでくださいました。メンバーのお一人おひとりの個性と持ち前の技量を、「誌」の立案・編集・校正・など多岐に亘る作業内容に生かそうとされました努力が何よりも嬉しく思いました。

## 十年ひと昔の ひとり言

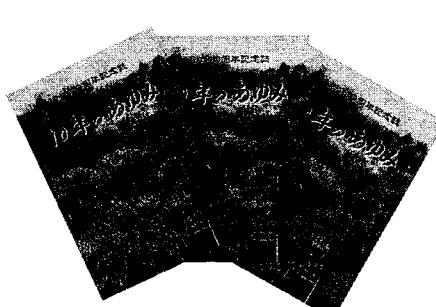
パークシティ町内会

山下 松寿



この度の作業は、「町連」平岡を綴る最初の試みでした。不十分さを補いながら今後の町連活動、ひいては豊かな地域づくりの為のヒントになつたり、支えなどに役立てたら私たち編集に携わった者として本当に嬉しいことです。

終わりに、作成にあたつて多くの個人・団体から温かいご協力を戴きました。心より感謝申し上げ、編集責任者のご挨拶とさせて戴きます。



十周年記念誌

美しい時代へ—東急グループ  
TOKYU STORE CHAIN

# 札幌 東急ストア

平岡店

営業時間あさ 10:00~よる11:00  
土・日曜はあさ 9:00~よる11:00札幌市清田区平岡7条2丁目2-1  
TEL 881-4109

P450台

がありベンを取った。  
思えば平成七年、町連二代目会長故大山正氏より、泉部長の後任を、とのお話を実に安易に引き受けた。

以来六年間、振り返れば空恐ろしくも恥ずかしく、迷惑をかけたと反省している所である。非力ながらも、ひたすら寄稿記事を大切に整理し、年二回の発行を続けてきた。

## 広報「ひらおか」

充実させていくか、は代々それに関わる者の大きな悩みでもある。町連各部の活動を積極的に公開して理解を得る努力と、単町の近況報告でお互いの問題解決に役立っていく、という労力を惜しむ訳にはいかない。

## —地域の文化を考える—

## 秋祭りに思う

平岡町内会

畔原 忠雄



札幌市は旧国道改良工事に併せて、神社前公園の造

本年の秋季例大祭は、北

レイアウトは、経費は、広告は、新しい企画はどうか、と事柄山積する中、親しみある「ひらおか」への期待は大きいのである。

私は、平岡を人生の青山と決めて早十五年になる。かけがえのない余生の一

日一日をゆっくりと味わつていただきたい。

町内熟年部のお喋り会を担当し、趣味の俳句三昧の日々である。

海道神宮の特段のご理解の許に、雅楽演奏と巫女舞を奉納し工事完成祝とした。

当日の厚別神社境内は、

快晴の秋日和に大勢の人出

となり熱心に観賞された。

今回の奉納演奏は管絃形

式で、その中心楽器は笙、

篠篥、龍笛の三管と和琴を

加えたものであった。笙は

湿気防止のため、演奏中で

も火鉢にかざし乾燥させな

がら奏する管楽器と聞く。

雅楽は、大和朝廷のこ

の歌舞音曲の上に、アジア

大陸東南部音楽の影響を受

けて、更には平安朝に中国

の唐樂が入り日本式雅楽が

普及し、日本古来の宫廷音

楽と云われるようになり、

今もその伝統を守り継がれ

ている、と聞く。幽玄な音

色に古典観賞の一日となる。

こうした伝統文化に触れ

られる今年の企画は、多く

の人々の心に深い感銘を与

えたことでしょう。また、

闘志を燃やしての子供相撲

や、体力の極限まで踊るヨ

サコイソーラン踊りに、子

供達のやる気が頼もしい。

賑わう夜店を歩き乍ら、遠く幼い日に味わった祭りへの歓喜を思い出していた。

市は今年七月、今後の街

づくり指針の「さっぽろ元

気ビジョン」を発表し、「市

民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を市民の英

知で作り上げる思いで示された。

私達の街「平岡」にも、若者達が本気でとり組める



おごそかな巫女舞



にぎわう夜店

**アンヌプリ・日帰りスキーバスパック**

アンヌプリ8時間券と札幌発着の路線バスがセットになってこの価格!

札幌発着 3,900円(要予約)

お問い合わせは  
シービーツアーズ (011)221-1122まで

**アンヌプリ・日帰りランチパック**

アンヌプリ5時間券と800円分の飲食・買物券がセットになってとってもお得!  
(さらに温泉割引券つき)

4,000円

お問い合わせは  
ニセコアンヌプリ国際スキー場 (0136)58-2080まで

**中央バス ホテル ニセコいこいの村**

TEL(0136)58-3111  
<http://www.nisekoikoinomura.com>

**ニセコアンヌプリ国際スキー場**

TEL(0136)58-2080  
<http://www.niseko.ne.jp/annupuri/>

**やっぱり、はなまる。**

—はなまるは、セルフ式のさぬきうどん店です—

早い、安い、  
おいしい、うれしい、キレイ！

麺とタシが、ひと味違う

セルフ式さぬきうどん店  
**はなまるうどん 札幌南郷店**  
札幌市白石区南郷通14丁目北3-4(南郷の湯となり)  
TEL011-846-8700

文化的なものがあれば、と思う。例えば獅子舞や和太鼓に平岡を誇れる地域づくりができるないだろうか。人と人の交流は、それらを守り

り継ぐ努力と協調性が生まれ、次世代を担う人達の大きな心の糧になつていくであります。

平岡町連結成10周年記念企画

シリーズ⑤

## 『知られざる 平岡のむかし』

—幼年期に見た平岡—

南平岡町内会

彦素 幸夫



昭和24年当時の彦素宅

演習地そのものの風景だ。家の裏には、高さ七、八mの見晴らしのきく丘があつた。そこは、なんと銃眼付きの「トーチカ」であつた。

父母が戦後の開拓民として平岡に移り住み、昭和二十二年「平岡無番地」で産声を上げた私。当時の情景や家族との暮らし、遊びなどを、物心ついた小学生時代の記憶を振り返つて見る。

何故「無番地」なのか。

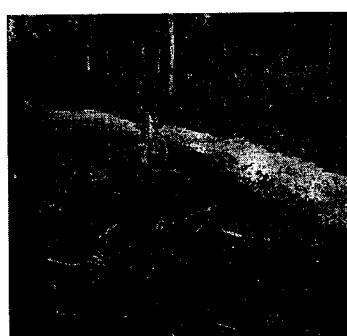
戦時中この地は、旧陸軍月寒第二十五連隊の演習地で番地は不要だったのです。旧国道の両側は、一面熊笹と低木の雜木林だった。旧国道に対峙して深さ一、二m位に塹壕が平行に掘られ、それが一〇〇m後方ごとに続き、更にそれらを連絡する縦横の壕もあつて、

たのです。前面には、一程の煉瓦を積み上げ、その上に土盛りし丘に似せた頑強なものだつた。子供達はそこを利用して、かくれんぼやぼうじやっこ（鬼ごっこ）、そして当然戦争ごっこ、と遊びの天才ぶりを發揮していた。父母はこれらを、開墾のための用具や生活用品の貯蔵庫として重宝していた。

本格的な井戸掘りをして、ダルマ式ポンプが付いた。開墾した雑木を乾かし、それを燃料として炊事、暖房には薪ストーブが使用されていた。煙突の手前には「あか」の湯沸し器が付いており、子供達は寒さで悴む手を競い合つてくつつけでは、よく叱られもした。

火力の強い石炭はそれに目にならないニワトコの木・たらんぼう・たわし代りにした木賊・煎じ葉にしたゲンノショウコなどの植物があり、自然の中から生活の知恵を身につけていった。

父母は、国営官舎の廃材を利用して生活のための小屋を建てた（写真）。柱葺きの屋根、板張りの外壁、天井には寒さしのぎの藁を



入植当時の道路



馬ソリで嫁入り



非力では、熊笹の根が縦横に入り組んだ強靭な大地に跳ね返され、戦いそのものの生活であった。町娘であった母は、ここで体力が増強したと語っていた。子供達も良く日常の手伝いをしていました。まだ電気は無く、小さな手でランプの「火屋磨き」、草等を使用しての庭掃き、毎日の薪と焚きつけ（ガンピや桜の木の皮）の搬入、炉端の清掃、流しの水桶いっぱいにする水くみの仕事等沢山あつた。それが家族の暮らしであり、大きな学びの場であった。

「島田鉄」一降り一降りの  
堀に身を粉にしていた。  
戦後は、ご多分に漏れず  
「食に窮しての開拓農家志願」で何とか食べてはいたが、父母は未明より日没まで、農作物を作る以前の開

豊平警察署少年補導委員連絡協議会  
結成二十五周年記念事業実行委員長

## 充実する平岡地区少年補導体制

豊平警察署少年補導委員連絡協議会  
木下日出男

十二月に結成され、今年は二十五周年を迎えます。

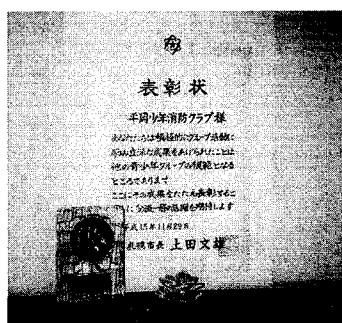
平岡地区では、歩道委員の日頃の活動もさることながら、昨年の七月に地区の児童・生徒事故防止合同対策協議会も結成され、長期休業時や祭りなどで巡回補導をするなど努力してまいりました。

この度、あらためて委嘱されました十人の補導委員をご紹介いたします。

役	氏名	住 所	電 話
協議会副会長	木下日出男	清田区平岡五条一丁目六一四	881-1750
平岡支部長	北川 栄一	清田区平岡五条二丁目二二七	881-2646
委員	和田 雄	清田区平岡四条三丁目一四二	881-1616
委員	柳瀬 豊	清田区平岡八条三丁目一一一	881-0106
委員	皆木 静江	清田区平岡八条三丁目六一	881-1722
委員	阿部 徹美	清田区平岡一条四丁目一一二	881-6640
委員	長橋扶史子	清田区平岡二条三丁目六一	882-11144
委員	石尾 精一	清田区平岡三条一丁目九一七	882-15170
委員	坂東 克彦	清田区平岡三条一丁目十一七	882-4561
谷口 光子			

## 平岡少年消防クラブ 札幌市長表彰受賞

平成十年五月、二十三名の団員で発足した平岡少年消防クラブが五年の活動を経て、さる十一月二十九日かで、27において札幌市長表彰の栄誉を受賞いたしました。左の写真は、表彰状と記念の楯です。



今年の二月、平岡地区会館の玄関先に『火の用心』をアピールした大きな雪だるまが作られました。発想の面白さが評判になりました。また。三月は、春の日ざしの中で補修しながら頑張り続けました。

クラブの代表坂東夫佐子（「町連」副会長）さんは、「五年間の経験は、長いとはいません。しかし、防

火かかる啓蒙活動・体験学習、また防災についての施設見学や体験活動などの多くの積極的な活動とその成果が評価されたと思っています」

地域の「安心」を将来にわたって考えてくれる力強い仲間たちです。

『女性部教養講座』十一月二十五日（於平岡地区会館）

## 分別ごみの処理について

清掃事業担当者と熱心に話合い

ごみ・不用品を上手に整理して、住み心地のよい街づくりを……。普段、何気なく暮らしている地域には町内会や子ども会・高齢者のクラブなどがあつて、いずれも人と人との良い関係を願つてつくられた組織です。

そして、具体的に『みんなで気をつけよう』『みんなで頑張ろう』などの共通課題の取り組みは、その出来不出来によって、地域の人間関係が良くなったり或いは逆になつたり、地域を考えていぐ上で非常に大切なことです。ゴミを通して、地域を考える素晴らしい機会でした。

(1) 火曜日の分別ゴミの扱い

ところが、この2種類は回収する会社（車）が違うのです。

- ・ビン・カン・ペットボトル……袋
- ・プラスチック……袋

ですから、8時30分過ぎてプラスチックのごみは



